

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		決勝トーナメント(1回戦)	
日時	平成15年8月 23日 (土)	10:50 ~	
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)	Cコート	第2試合
結果	長成	10 - 18	旭
	(山口)	10 - 7	(茨城)
	52	17 - 5	32
		15 - 2	
主審	山口 雅和 (北海道)	副審	中村 浩仁 (青森)

【個人トータル表】

長成(山口)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	三池 将隆	12	0	6	0	0
5	大深 聡	4	0	2	0	2
6	一丸 智史	0	0	0	0	0
7	大久保 学	21	1	9	0	3
8	岸田 卓也	9	1	3	0	1
9	中村 浩之					
10	荒川 宣幸					
11	植木 司					
12	田中 雄大					
13	野崎 脩					
14	福本 真也					
15	津留崎 一真					
16	高野 大志	6	0	3	0	2
17	前村 明宏					
18	竹中 隼也					
	合計	52	2	23	0	8

旭(茨城)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	小沼 龍一	0	0	0	0	3
5	米田 明	11	0	5	1	1
6	石田 拓海	9	3	0	0	0
7	石田 一真	3	1	0	0	0
8	谷田川 達也					
9	細谷 真吾	9	1	3	0	1
10	山崎 一					
11	酒井 誠治					
12	和田 幸大					
13	田山 聡志					
14	竹内 真吾					
15	村田 伸哉					
16	酒井 長宏					
17	嶋田 佑紀					
18	桜井 亮					
	合計	32	5	8	1	5

【戦評】

予選を2勝で勝ち上がり中国ブロック1位の山口県長成中と、予選1勝ではあるものの激戦区の関東ブロック代表茨城県旭中との対戦。長成中はポイントゲッター#8岸田がフェイスガードされ、思うように得点をあげることができない。対する旭中は、#9細谷の3Pやドライブ、#5米田のドライブ、#6石田(拓)の3Pで得点を決め、残り2分53秒で長成中タイムアウト。10-2と旭中リード。両者共にマンツーマンでの激しいディフェンスで流れをつかみたい状況の中で、旭中#7石田(一)、#6石田(拓)の連続3Pで突き放そうとするが、長成中は、#4三池を中心としたオフェンスで立て直しを図り、#4三池#7大久保のジャンプシュートで追い上げ、18-10旭リード。

2クォーターでは長成中がセットオフェンスで確実に得点を重ね、残り3分すぎには4点差まで追いつける。しかし、旭中も#5米田の力強いリバウンドシュートで加点し、25-18旭中リード。その後、両者セットオフェンスで流れをつかもうとするがシュートが入らず。残り1分すぎに長成中#4三池のドライブから#7大久保が合わせてジャンプシュートを決め、25-20で旭中リードで2クォーター終了。

3クォーターに入り、長成中は#4三池を中心にセットオフェンスで#7大久保、#16高野のジャンプシュートや#8岸田の3Pで残り3分すぎには逆転に成功。その後、旭中のミスにより2本連続で速攻が決まり、37-30と長成中リードで3クォーター終了。

4クォーターに入り、一進一退の攻防が続く中、長成中#4三池、#7大久保が着実に加点し、41-32とリードを広げる。残り3分すぎに旭中もオールコートディフェンスに切り替えて反撃するが、長成中の巧みなゲームコントロールによって、追いつくことができません。52-32と長成中が決勝トーナメントの1回戦を勝ち抜いた。

負けはしたものの、旭中の最後まであきらめない頑張りも光るゲームだった。

北村 剛(千歳青葉)

【トーナメント戦績】

